

## 警 察 署 協 議 会 会 議 録

中央警察署協議会

開催年月日時	令和5年2月7日 午後4時00分 から 令和5年2月7日 午後4時45分 まで	
開催場所	中央警察署6階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下11名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、地域管理官、交通管理官、警備管理官、総務第二課長、事務局
議 事 概 要		
<p><b>【中央署協議会会長の互選について】</b>                  会長が本年度末で退任することに伴い、次期会長を委員による互選で選出した。</p> <p><b>【中央署協議会副会長の互選について】</b>                  副会長は来年度も再任予定であるが、委員によるに互選で再選出した。</p> <p><b>【署長挨拶（要旨）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大変お忙しい中、警察署協議会に御出席いただき、心より御礼申し上げます。</li> <li>○ 年末から関東地区を中心として相次いで発生している強盗事件が連日テレビ等で放送されているが、強盗事件が全国各地で連続発生していることなどから、国民の関心や社会的反響も大きくなっている。</li> <li>○ 当署においても、昨年7月、管内で発生した強盗事件の被疑者を、先日通常逮捕したところだが、この種の犯罪が管内で発生すると住民の不安が高まるので、犯人の早期検挙が我々警察に最も求められるところである。</li> <li>○ 中央警察署では、県民の皆様が、安全や安心を実感できるよう署員一丸となり犯罪検挙と各種防犯活動を強力に推進していくので、引き続き、警察署の活動に御支援・御協力をお願いします。</li> <li>○ 本日は、会長から『警察署協議会会長連絡会議開催結果』、私から『令和4年中の治安概況と令和5年の取組』を予定しているので、よろしくをお願いします。</li> </ul> <p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 警察署協議会会長連絡会議の開催結果（会長）                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 警察署協議会活動報告等                             <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 中央警察署協議会                                      装備資機材の装着体験及び受傷事故防止訓練の実施について</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>		

議 事 概 要

- イ 筑紫野警察署協議会  
警察署と連携した交通事故抑止対策（ポストコーン設置等）について
- ウ 久留米警察署協議会  
警察署と連携した交通安全対策（ガードレールの設置等）について

【質疑応答及び意見要望】

なし

【報告事項】

2 令和4年中の治安概況及び令和5年の取組みについて（署長）

(1) 令和4年中治安概況

福岡県内及び中央警察署管内の統計値「前年比」を述べた上で、管内で発生している事案の特徴についてそれぞれ説明

- ア 刑法犯の認知・検挙等
- イ 交通事故の状況
- ウ 性犯罪の状況
- エ ニセ電話詐欺の状況
- オ ストーカー・DV事案の状況
- カ 薬物事犯の状況

(2) 令和5年の取組

県警の最重点目標や重点目標について、署員一丸となって取組を推進していく。その中でも特に、

- ◆ 『飲酒運転の撲滅及び子供・高齢者等の交通事故の抑止』～飲酒運転撲滅の啓発活動推進、効果的な取締り、自転車の取締り強化
- ◆ 『性犯罪の根絶』～犯人の早期検挙、発生時間帯の警戒強化、犯罪の起きにくい環境整備
- ◆ 『ニセ電話詐欺の予防・検挙』～高齢者に対する予防対策の強化、「まっ太フォン」の普及促進
- ◆ 『児童虐待・ストーカー・DV等への的確な対処』～被害者の安全確保を最優先とした組織的な対応の徹底
- ◆ 重要凶悪事件の徹底検挙～最大限の人員投入、捜査力の最大限発揮により被疑者の徹底検挙
- ◆ 薬物事犯対策の強化～大麻密売組織の壊滅、若年層に重点を置いた広報啓発活動の推進

等について推進していくので、当署の活動に対し、本年も力強い御支援をお願いする。

議 事 概 要

【質疑応答及び意見要望】

- 委員から、「以前、協議委員とともに児童虐待防止キャンペーンに参加したことがあるが、警察官だけではなく我々一般市民が啓発活動するというのは重要なことだと感じている。なぜなら、私も含め、一般市民は、児童虐待等に対して関心が薄いように感じている。児童虐待、DV、ストーカー事案等が起きてからではなく、それをしないさせないためには、もっと啓発活動を進めていく必要があるということを署長の報告を聞きながら感じた。」旨の意見があった。
- 委員から、「県内の信号のない横断歩道において車がどれだけ止まるか、という内容のテレビ番組を見たところ、2018年は18%だったのが2022年は54%と約3倍に向上した、とのことだった。これほど自動車運転マナーが良くなった理由は、地域住民の活動や警察官の取締りを強化した結果ではないかと感じている。」旨の意見があった。

【総括・閉会】

- 会長から総括及び終了の挨拶があった後、閉会した。

以 上